

平成21年 3月 3日  
午 時 分 受領

平成21年 3月 3日

福島町議会議長 溝 部 幸 基 様

福島町議会議員 1番 佐 藤 卓 也 ㊟

## 一 般 質 問 通 告 書

第1回定例会において、次の件について質問したいので、会議規則第60条第2項の規定により通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質 問 の 相 手
「行政サービス株式会社」で雇用の確保を	<p>町内に働く場所が少ないということは誰の目にも明らかです、2月24日の臨時会において議員から出た「若い人の雇用の場をどうされるのか」という質問に対して、町長は、雇用の場、就労の場、以前議会でも取り上げられた起業家育成などを含めて本格的な取り組みをやっていきますとおっしゃいました。早急に取り組まれると思いますのでその方向性・具体策をお伺いします。</p> <p>また、町内でパートの仕事を見つけることは至難の業です、2月に役場の臨時職員の募集がなされましたが空きがあつての募集ではなく、長期の採用が出来ない故の募集でありました。委託企業しかりです、2つの記念館、プールやパークゴルフ場などは冬期間休みです。現状の対策としては、新規雇用の場を増やすか、ワークシェアリングで正規職員の仕事の負担を減らし臨時職員を増やすしかないと思うのです。</p> <p>私としては、役場職員が減少するなか、行政サービスの低下を抑えるためにも株式会社を設立し、若者の雇用、パート職員の雇用、定年退職者の雇用を確保すべきと考えます。色々な町で臨時職員を雇用するという情報はありますが、地方公務員法により6ヶ月間しか働けません。その点株式会社のメリットは、地方公務員法にとらわれないで職員の採用が可能になりますので、利益追求の事業展開ができます。</p> <p>福島町の産業発展、人件費削減、福祉向上の目的のためにもなるとは思いますがいかがでしょうか。町長の所信をお伺いいたします。</p>	町 長

- 注) 1 質問の要旨は、簡潔明瞭に記載すること。なお、記載外については、質問できません。  
2 質問の相手は、町長、行政委員会の長又は監査委員とする。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>人口減少率全国9位の対策は</p>	<p>2月3日に北海道新聞2面に人口減少率全国9位という文字と青函トンネル記念館の写真が掲載されました。</p> <p>大変ショッキングな統計だと思います。新聞記事では、「トンネル関係者が去ったのが大きい」と町長はコメントされていますが、トンネルは1988年、20年前に開通しています。</p> <p>2000年の国勢調査を基に30年後の人口を5割と予測しましたが、今回は2005年を基準として30年後の人口は現在の4割弱しかいなくなるというものです。2000年から2005年までの5年間で約900人の人が居なくなったということが大きな要因ということです。ですから、トンネル関係者とは無関係だと思います。</p> <p>では、なぜこの5年間でこんなに減ったのでしょうか。小泉政権下において地方交付税が減少しただけが原因とは言いきれません。それは、「政策」がなかったからだと思います。</p> <p>記事では、人口は「地域の政策によって変わる」と述べています。そういう意味で、遅きに失するとは思いますが、今後5年後、10年後のビジョンを示す必要があるのではないのでしょうか。</p> <p>世界各国と連携をとることも1つの方策だと記事には書いてあります。もし危機感をお持ちでしたら対策を講ずるべきだと思います。町長の考えをお伺いいたします。</p>	<p>町長</p>